

八戸市史だより

第 18 号

発行日 平成 26 年 9 月 8 日 八戸市史編纂室

新編八戸市史最新刊



「通史編Ⅲ 近現代」 発刊！

市史編纂事業の集大成である「新編八戸市史」。市史編纂室では『通史編Ⅲ 近現代』を発刊しました。明治期から平成の現在までを対象としています。

通史編Ⅲは、手に取りやすいA5版のソフトカバーで、カラー印刷による写真や図版を数多く取り入れた親しみやすい本となっています。本書は、八戸での出来事・産業・生活・文化など多くの分野についての歴史を第1章から第8章に分けて時代順に構成しました。八戸

の歴史を調べる資料としてぜひご利用ください。

ここで『通史編Ⅲ 近現代』の内容を少し紹介します。明治時代、身分制などの封建的なしくみをあらため、近代国家としての歩み始める日本。国家のしくみだけでなく国民生活も近代化され、八戸も時代の流れに乗って変化していきます。青森県の一部としてスタートした八戸、港町八戸のいしずえとなった鮫港築港運動の展開、人づくりの土台となる教育制度、電話利用の開始などの暮らしぶりの変化といった話題をわかりやすく説明しました。



青森堂絵葉書より 昭和初期の八戸駅（現在の本八戸駅）

時代が大正・昭和に進むと、日本全体が災害・経済不況・戦争に見舞われますが、八戸は街づくりの方向性を定め、街づくりの歩みを大きく前進し展開していきます。そして、産業都市としての発展をみすえて行われた八戸市の市制施行、工業地帯の形成、都市計画など八戸市の発展を豊富な図表を用い、ていねいに解説しております。

●通史編Ⅲ 近現代 目次

- 第一章 近代八戸の形成
- 第二章 八戸の近代化の進展
- 第三章 大正デモクラシーと八戸
- 第四章 八戸市の誕生
- 第五章 戦後復興
- 第六章 新産業都市指定による躍進
- 第七章 高度成長と低成長
- 第八章 拠点都市の自覚

新編八戸市史『通史編Ⅲ 近現代』は定価3,080円（税込）、八戸市内各書店の他、八戸市立図書館2階市史編纂室、八戸市博物館にて**発売中**です。

なお、続刊予定の『通史編Ⅰ 原始・古代・中世』は今年秋をめどに発売したいと考えております。詳細が決まりしだい、広報はちのへ、八戸市ホームページでお知らせします。

八戸近現代クイズ (答えは裏面にあります) *****

◆ 市制施行 30 周年記念、八戸市庁舎落成式（昭和 35 年 11 月 3 日）の翌日、市庁舎で当時の岩岡徳兵衛市長・市職員を前に演説をした内閣総理大臣は誰？

1. 吉田 茂
2. 芦田 均
3. 鳩山一郎
4. 池田勇人
5. 佐藤栄作

★ヒント：「所得倍増」をスローガンにしていた内閣総理大臣

市史講座 通信

市史編纂室では、新編八戸市史『通史編Ⅲ 近現代』発刊記念として、「平成26年度 第1回八戸市史講座」を平成26年7月27日に開催しました（場所：八戸市立図書館2階集会室）。講師は八戸ペンクラブ顧問の山根勢五氏。演題は「戦後八戸 文化のスタート」。講演当日は日差しが強く気温がぐんぐん上がる中、59名の方々がご参加されました。予想以上の参加者数と、八戸市民の八戸の歴史に対する関心の高さを再認識し、事務局一同うれしい思いをいたしました。

開講にあたって、はじめに元八戸市史編集委員会近現代部会長の本田敏雄氏からごあいさついただきました。「今年度の市史講座の元になる本は、このたび発刊された『新編八戸市史通史編Ⅲ 近現代』です。これは手に取りやすく、非常にビジュアル化された本であり、見やすいものとなっております。値段も **ちょー安!**。ぜひ、よろしく願います。」と力強いメッセージがありました。



第1回 市史講座の様子

その後、さっそく山根講師により講演が始まりました。「富士画廊」と「あのなっす そさえて」の兄弟のような関係や、柴田正一、村次郎、石橋一貫、山田隆之、戸村功といった八戸の文化史を理解する上での代表的人物を解説。講師自身の具体的体験をまじえながら、笑いをさそうようなエピソードが紹介されると、会場も自然と和やかなムードにつつまれたのは大変印象的な場面でした。また、講演終了後の質疑応答の時間では、参加者の方々から積極的に質問が出され活発な様子でした。

平成26年度 八戸市史講座 演題・講師の変更のお知らせ

平成26年度八戸市史講座の第3回、第7回の演題・講師を変更しましたのでお知らせします。

| | 変更前の演題・講師 | 変更後の演題・講師 |
|--------------------------|--|--|
| 第3回 9月21日(日) 午前10時～正午 | 演題：八戸近現代に登場する人と思想 講師：渡部 高明 ノースアジア大学准教授 | 演題：八戸の港づくり -明治・大正・昭和- 講師：小瀧 勇 八戸ペンクラブ会員 |
| 第7回 1月10日(土) 午前10時～正午 | 講師：八戸の港づくり -明治・大正・昭和- 講師：小瀧 勇 八戸ペンクラブ会員 | 演題：八戸近現代に登場する人と思想 講師：渡部 高明 ノースアジア大学准教授 |



いかずきんズ (ファミリー)

八戸近現代クイズ 答え

正解は、4. 池田勇人
でした。

第58・59・60代内閣総理大臣。
在任期間は昭和35年7月から
昭和39年11月。高度経済成長
期の首相。「私はウソは申しま
せん」でも有名。

「新編八戸市史 中世資料編」好評発売中!

主な取扱店

伊吉書院 (西店) TEL 0178-28-8211
カネイリ (番町店) TEL 0178-46-1812
木村書店 (本店) TEL 0178-24-3366

B5版

本冊：501ページ (編年資料)
別冊：455ページ (写真・系図・由緒書)
和暦西暦対照表・本文検索用 CD-ROM (PDF データ) 付
定価：5,760円 (税込)



発行・編集 八戸市史編纂室 (八戸市立図書館内)
〒031-0022 青森県八戸市大字糠塚字下道2-1
TEL・FAX 0178-73-3234 E-mail/shishi@city.hachinohe.aomori.jp